

## 「みやざき県民復興協力隊」活動報告 第1班(6/6～6/11)

### 活動1日目及び2日目

いわき市平豊間地区(約80名が死亡、家屋消失、半壊多数)の隣接する2件のニーズ案件に対応しました。2日間とも「みやざき県民復興協力隊」のメンバーによる支援活動で13名と7名に分かれ活動を行いました。

1件は消失、半壊した家屋のがれきの撤去、堆積した土砂の選別による区分、流失した2体の氏神様の搜索等でした。初日に幸いにも2つの氏神様のうち1体を発見することができました。依頼者からは大変喜ばれ、最終日には遠路宮崎からの支援に対し丁寧なお礼の挨拶をいただきました。

もう1件は、半壊した家屋の室内の片付け、野外のがれきの撤去でしたが、堆積した土砂の中から家族のアルバムを発見することができ、大変喜ばれたところです。

### 3日目

福島県内外から参加されているボランティアの方々との混成チームに6つに分かれ、市北部に4グループ10名(久の浜地区 約120名が死亡 家屋消失、半壊多数)、市南東部・南部に5名(平豊間1名、小名浜地区4名)、市街地に5名活動を行いました。活動内容は、家屋内外のがれきの撤去、選別、ゴミの搬送、倒壊した堀の撤去等でメンバーの方々は改めて被災状況の大きさを痛感されていたようでした。

### 4日目

前日同様、全国各地から参集しているボランティアの方々との混成チームにより、7グループに分かれて活動を行いました。市北部11名(久の浜地区 3グループ9名、四倉2名)市南東部・南部6名(平豊間2名、小名浜地区4名)、市街地に2名活動を行い、活動内容も家屋内外のがれきの撤去、選別、ゴミの搬送等でした。活動の最終日でしたが、それぞれに被災地支援に対する想いを込め、一生懸命に活動を行っていただきました。

### <いわき市の状況>



## 参加された方々の所感

報道されている内容で理解はしていたものの、実際の被災現場に足を運んで現場を見ると、その被害の大きさに驚かされたというのが実感のようでした。

参加頂きました皆さんからは「貴重な体験をさせていただいた」、「少しでも災害復興の支援にお役に立ったのであれば大変うれしい」、「復興支援活動に参加できたことを誇りに思います」、「今回の経験を多くの地元の方々にお伝えしたい」、「今後、県内の防災ボランティア活動に参加したい」等のお声をいただきました。

今回の活動支援は、7月上旬の第5班までの派遣が予定されています。

多くの県民の方々の被災地復興支援への想いが、形となって実現できた活動となりました。

### <活動状況>

